

防災

ハンドブック



大津市

大津市防災ハンドブック

はじめに

災害は「いつ」、「どこで」発生するかわかりません。
地震による建物の倒壊や津波被害、大雨による土砂災害、洪水、
河川はん濫、台風がもたらす強風による被害など、災害には様々な
種類があります。

この「大津市防災ハンドブック」は、災害時の心構えと、災害が
発生した時に、どのように行動すれば良いかについてまとめた
ものです。ご家庭の身近な場所に備えていただき、ご家族や地域
の皆さんで話し合いをされる際にご活用ください。



おおつ光ルくん

もくじ

●地震から身を守る

地震が発生する仕組み	01
南海トラフ地震・琵琶湖西岸断層帯地震	02
大きな地震が発生した時の行動	03
命を守る行動	04
家具の転倒・落下防止をしよう	

●風水害から身を守る

気象情報・避難情報の流れ	05
気象情報(警報)	06
土砂災害の種類と前兆現象	
避難の情報について	07
台風への備え ～わが家の安全対策～	08

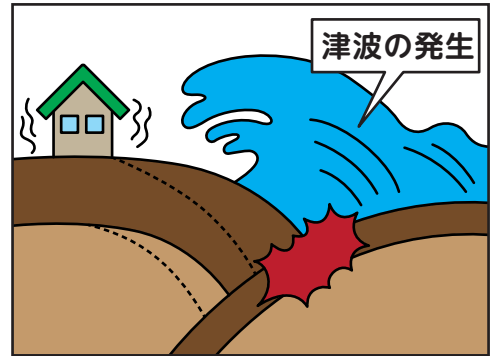
●災害への備え

「自助」・「共助」の重要性	09
非常持ち出し品・備蓄品「自助」	
地域での助け合い「共助」	10
大津市の情報伝達体制	12
あなたの避難場所、避難所を確認しておきましょう	13
災害に備えて ～避難場所・避難所を記入しよう～	裏表紙

地震が発生する仕組み

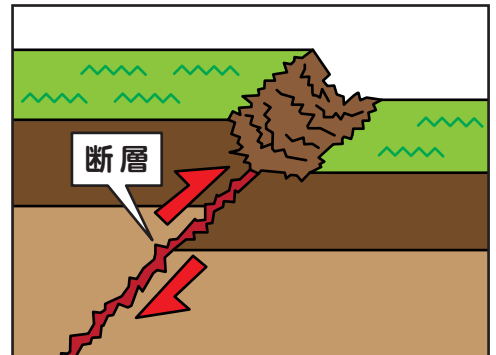
海溝型の地震

日本列島が乗っている大陸側のプレートに、海洋側のプレートが毎年数cmもぐり込んでいます。そのときに大陸側のプレートが引きずり込まれ、プレート同士の境目にひずみが蓄積されます。それが限界に達した時に、元に戻ろうと急激に動き地震が発生します。平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災は、プレートの境界域における海溝型地震でした。



活断層による地震

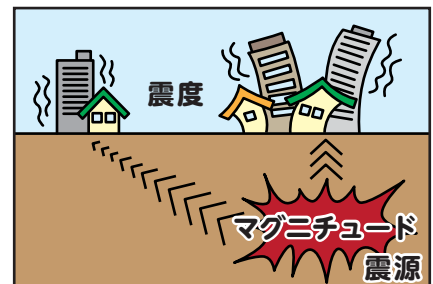
プレートに蓄積されたひずみのエネルギーが、プレートの内部で破壊を引き起こし、断層ができ地震が発生します。平成7年(1995年)1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、プレートの内部における内陸型地震でした。日本には、過去200万年のうち何度か活動し、今後も活動すると考えられている断層(これを活断層という)が約2,000か所あります。



マグニチュードと震度について

マグニチュード と 震度 の違い

地震のエネルギーの大きさをマグニチュード、各地域での地震の揺れの大きさを震度といいます。東日本大震災では地震の規模を示すマグニチュードは9.0を記録しました。この地震により、宮城県栗原市で震度7を観測。



マグニチュードは「1」増えると地震の規模が「32倍」になります。

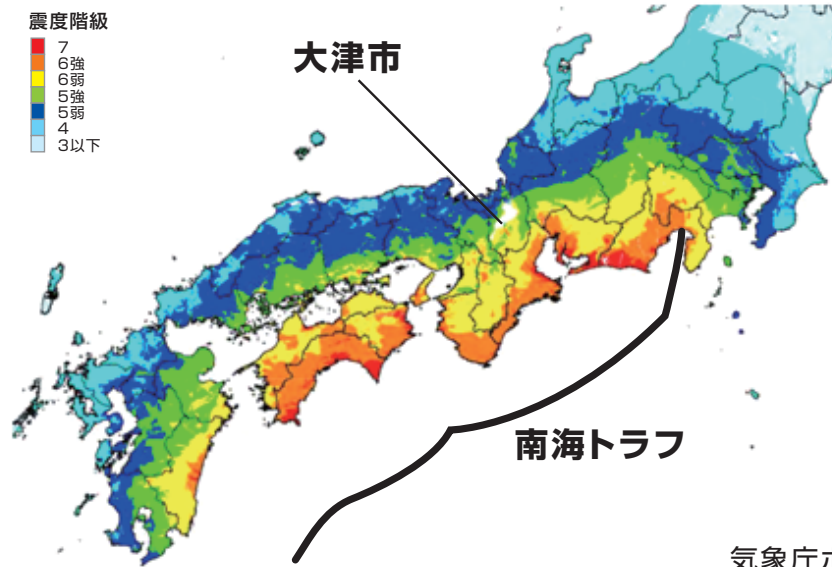
マグニチュード8の地震はマグニチュード7の地震の32個分のエネルギーを持っている事になります。

マグニチュード(M)が「1」増えるとエネルギーは約32倍



南海トラフ地震

想定震度分布（複数の想定されるケースの最大値の分布）

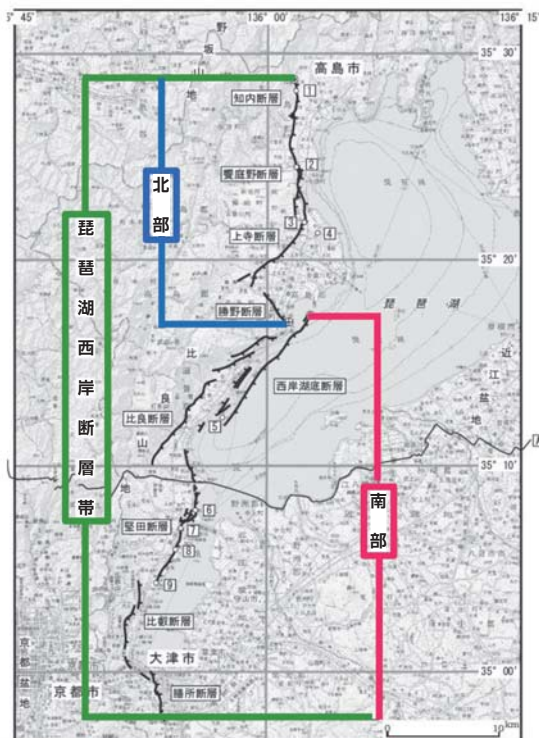


気象庁ホームページより抜粋

南海トラフ地震は、南海トラフ及びその周辺の地域における地殻の境界を震源とする大規模な地震で、これまで約100～150年ごとに地震が発生しています。昭和21年（1946年）に発生した昭和南海地震は比較的規模が小さかったことからエネルギーがまだ残っていると考えられ、次の南海トラフ地震は100年を待たず今世紀前半にも発生する恐れがあり、その確率は70%～80%とも言われています。

大津市でも最大震度6強の揺れが発生する可能性があります。

琵琶湖西岸断層帯地震



評価概要

【平均活動間隔】

北部 約1000～2800年
南部 約4500～6000年

【最新活動時期】

北部 約2800年前以後、
約2400年以前
南部 1185年地震

【地震の規模 (M)】

全体 7.8程度
北部 7.1程度
南部 7.5程度

【地震発生確率】 (今後30年)

北部：1 - 3%
南部：ほぼ0%

高島市(旧マキノ町)から大津市国分(晴嵐学区)までの断層帯で、長さは約59kmあります。

過去の地震活動を踏まえて、平成21年、政府の地震調査委員会の報告で今後30年の地震発生確率が発表されました。北部(高島市)では、1～3%(国内でも高いグループ)、南部(高島市南方～大津市国分付近)では、ほぼ0%でありました。過去の地震活動と同様、琵琶湖西岸断層帯は北部と南部に分かれて活動すると推測されていますが、琵琶湖西岸断層帯全体で発生する可能性も報告されており、決して安心はできません。

なお、琵琶湖西岸断層帯による地震で大津市では最大震度7、マグニチュード7.8が想定されています。

大きな地震が発生した時の行動

地震発生!

命を守る

- 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて、自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。



1~5分

家族を守る

- 家族の安全を確認。
- 火の元を確認・初期消火。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 非常持ち出し品を手元に用意する。
- 余震に注意。



5~10分

地域を守る

- 隣近所の安全を確認。
- ラジオなどで情報を確認。
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。

10分~
数時間後

助け合いの心で...

- 協力して消火・救出活動。
- 壊れた家には入らない。
- 水・食料は備蓄でまかなう。
- 引き続き余震に注意。
- 災害情報、被害情報の収集。

避難生活

- 避難所等では集団生活のルールを守る。

●緊急地震速報

地震発生直後、震源近くの地震計により強い揺れの到達時間や震度を予測し、強い揺れが到達する前に、テレビやラジオ、携帯電話等でお知らせするものです。

震源からの距離によって、揺れの到達予測時間は数秒~数十秒と差がありますが、緊急地震速報を見聞きした場合、少なくとも1分間程度、身の安全を守り、地震に警戒をしましょう。

※詳しくは気象庁ホームページを参照ください。 <http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/>

命を守る行動

こんな場所で地震が起こったら・・・

○ 道路を歩いている時・・・

- ビルの窓ガラスの破片、看板などの落下物に注意し、持ち物などで頭を守る。
- 近くの広場や頑丈なビルに一時避難し、様子を見る。



○ 自動車を運転している時・・・

- 急停車せずに、徐々に減速し、道路の左側に停止し、エンジンを止める。
- 避難する時は、かぎを付けたまま歩いて避難する。
- カーラジオで災害情報を聞く。



○ 交通機関を利用している時・・・

- カバンなどで頭を保護する。
- 緊急停止に備えて、つり革・手すりにしっかりつかまる。



○ エレベーターの中にいる時・・・

- 全ての階のボタンを押し、一番近い階で止まったらすぐに降りる。
- 停電などでドアが開かなくなったら、緊急連絡ボタンを押し、指示を待つ。

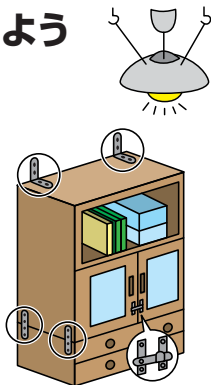


家具の転倒・落下防止をしよう

家具の配置・転倒防止を考えましょう!

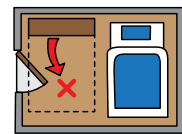
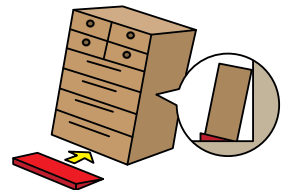
○ 耐震金具を利用しよう

- 本棚やタンスなどの重い家具が倒れないように固定する。
- 重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。
- 食器棚などの扉が開かないように金具で留める。
- 吊り下げ式照明器具は、チェーンなどで留める。



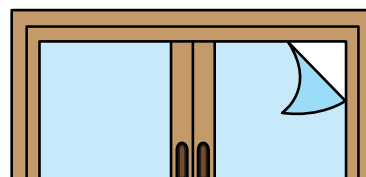
○ 置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入り口や通路には、なるべく荷物を置かないようにします。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫をします。



○ ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。



気象情報・避難情報の流れ

いつ発生するのか予測がつきにくい地震と比べ、台風や集中豪雨は、ある程度予測できる気象現象です。近年では、予測が困難な局地的な大雨が発生し、大きな被害をもたらしています。大津市でも平成24年大津市南部豪雨、平成25年台風18号、平成29年台風21号などの風水害に見舞われました。日頃から災害に対する備えと知識を身につけ、被害を最小限に食い止めるようにしましょう。

洪水

大雨や台風等に伴い、河川がはん濫することにより、家屋の浸水・流出等の甚大な被害をもたらします。

■洪水注意報

市民の行動

- 窓や雨戸等を確認する。
- 避難所を確認する。
- 非常持出品を点検・準備する。
- 川に近づかない。

■洪水警報

市民の行動

- 身の危険を感じたら避難する。
- 川の水位情報に注意する。

台風が接近するなど
大雨が予想される

土砂災害

急斜面や溪流の周辺では、大雨や台風等が引き金となって、かけ崩れや土石流、地すべりが発生するおそれがあります。これらの土砂災害は一瞬にして、生命や財産を奪うなど、甚大な被害をもたらします。

■大雨注意報

市民の行動

- 窓や雨戸等を確認する。
- 避難所を確認する。
- 非常持出品を点検・準備する。
- ガケ等に近づかない。

■大雨警報

市民の行動

- 身の危険を感じたら避難する。
- 土砂災害の前兆現象を確認したときには避難する。

注意報

警報

土砂災害警戒情報

■土砂災害警戒情報

市民の行動

- 避難に関する情報が発令されたら、自宅が避難対象区域に含まれているか確認する。

避難情報の発令

- 高齢者等避難
- 避難指示
- 緊急安全確保

市民の行動

- 避難所へ避難する。
- 避難することが危険な場合、家の2階以上の安全な場所にとどまる。

記録的短時間大雨情報

特別警報

○土砂災害警戒情報（気象庁ホームページ）

土砂災害 気象庁

検索

危険度

小

大

気象情報(警報)

情報の種類	情報内容	発表基準
大雨注意報	大雨により、災害が起きるおそれがある。	1時間雨量40mmなど
大雨警報	大雨により、重大な災害が起きるおそれがある。	1時間雨量70mmなど
土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険度が更に高まった時。	土壌雨量指数の上昇など
記録的短時間大雨情報	数年に一度の記録的な短時間の大雨を観測した時。	1時間雨量90mm
大雨特別警報	大雨により、重大な災害が起きるおそれが著しく大きい場合。	数十年に一度の降雨量

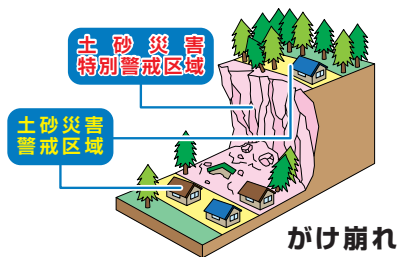
土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害

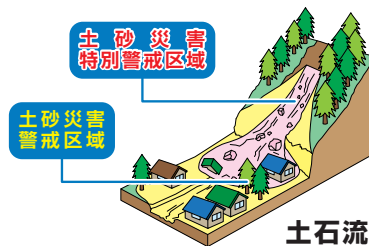
がけ崩れ：山の斜面が突然崩れ落ちる。一瞬にして崩壊します。

土石流：谷や斜面にたまった土・石・砂が一気に押し流される。猛スピードでやってきます。

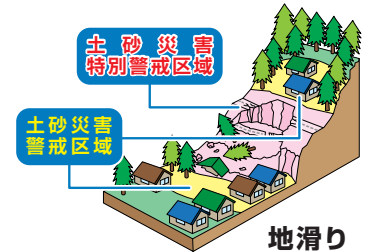
地滑り：粘土などのすべりやすい層の上にある斜面部が滑り落ちる。被害が広範囲に及びます。



がけ崩れ



土石流



地滑り

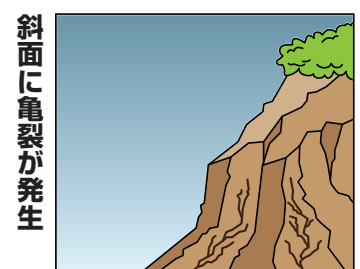
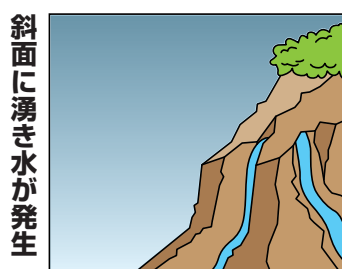
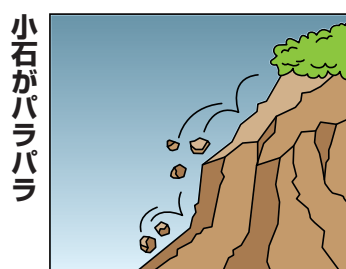
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

土砂災害警戒区域・・・急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、生命又は身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域・・・急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、建築物に損壊が生じ生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害の前兆現象

- がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてくる。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 斜面にひび割れができる。
- 川が濁ったり、流木がまざりはじめる。
- 斜面から水がふき出る。がけから出る水が濁る。
- 地鳴りの音が聞こえてくる。



避難の情報について

○ 市から発令する避難情報

災害の危険が高まった時、市から避難情報が発令されます。発令される避難情報は3種類ありますので、情報に応じた適切な行動をとってください。

高齢者等避難

- いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
- 避難に時間を要する人(高齢者、障害者、乳幼児等)は避難を開始しましょう。

避難指示

- 指定された避難所へ避難をしましょう。
- 外出することで命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

危険な場所から全員避難

緊急安全確保

- すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
- 緊急安全確保の発令をまたず、避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

○ 土砂災害に関する大津市の避難情報の伝達方法

「土砂災害の危険性が高い区域」を対象に発令します。お住いの地域が「土砂災害の危険性が高い区域」に入っているかどうかは、大津市ハザードマップで確認できます。

発令する時の表現例

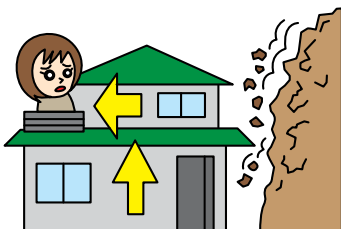
- ・「○○学区の土砂災害警戒区域等○○世帯○○名」
- ・避難所 ○○小学校体育館

区域内

避難対象となるため、避難に関する情報を収集し、指定された避難所や安全な場所へ避難してください。

区域外

避難対象ではありませんが、危険性を感じる場合は、安全な場所へ自主的に避難しましょう。



屋外への避難が危険な場合・・・

屋外へ避難する方が危険だと判断した場合は、ご自宅の2階以上で、ガケからなるべく離れた部屋に避難しましょう。

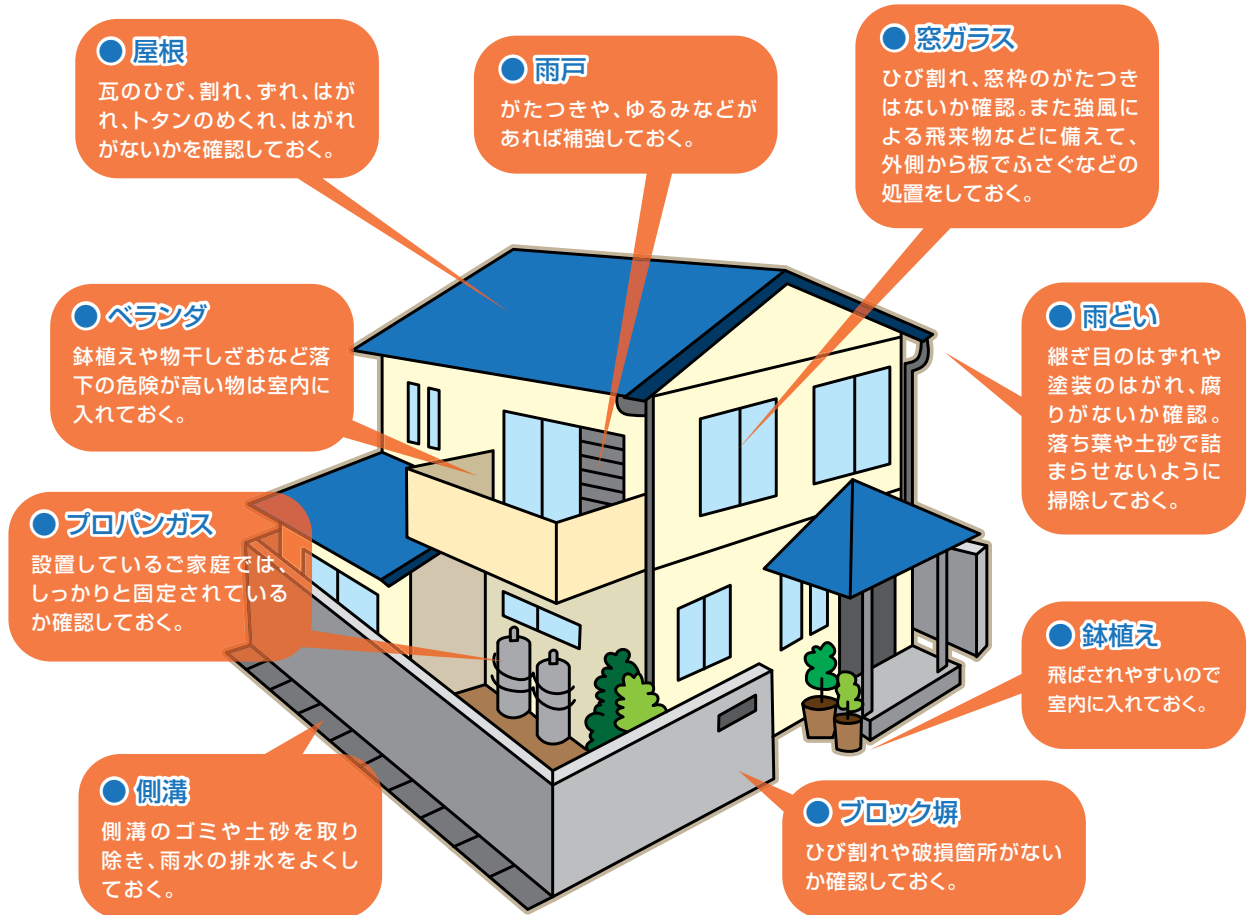
<大津市ハザードマップに関する情報>

<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/005/1223/g/bosai/map/karte/index.html>

台風への備え ～わが家の安全対策～

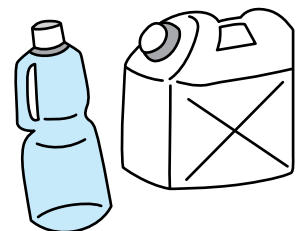
○ 家の周囲で行う対策ポイント

台風などが来る前に、家の周りに飛ばされそうな物や、危険なところがないか確認しておきましょう。



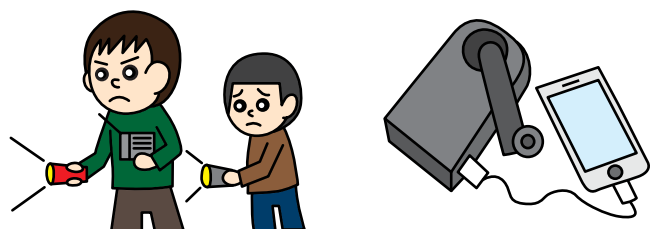
○ 断水に備える

- 飲料水は大人一人あたり1日3ℓが目安。
- 最低3日分を用意しましょう。
- 浴槽に水を張り、トイレなどの生活用水も確保しましょう。



○ 停電に備える

- 一人一本の懐中電灯を準備
- 手回し充電器を準備
- 携帯ラジオ、予備の乾電池を準備



「自助」・「共助」の重要性



災害への備えは、自助、共助、公助の3つがあります。大規模な災害が発生した時には、自治体・警察・消防・自衛隊などの防災機関だけでは十分な対応はできません。

この3つが最適に機能すれば被害を最小限におさえることができます。「自分の命は自分で守る」「地域で互いに助け合う」といった、自助・共助の取り組みが大切です。

非常持ち出し品・備蓄品「自助」



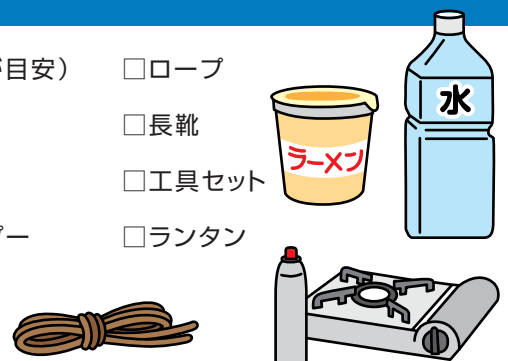
非常持ち出し品

- | | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金 | <input type="checkbox"/> 預金通帳 | <input type="checkbox"/> 印鑑 | <input type="checkbox"/> 保険証 | <input type="checkbox"/> 免許証 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 予備の乾電池 | <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> 防災ずきん |
| <input type="checkbox"/> 厚手の手袋 | <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> 缶切り | <input type="checkbox"/> ライター・マッチ | <input type="checkbox"/> ナイフ |
| <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ | <input type="checkbox"/> 救急箱 | <input type="checkbox"/> 処方箋の控え | <input type="checkbox"/> 胃腸薬・便秘薬 | <input type="checkbox"/> 持病の薬 |
| <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> 乾パン | <input type="checkbox"/> 缶詰 | <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 | <input type="checkbox"/> 手回し充電器 |
| <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート | <input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット | <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 下着 | |
| <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン | <input type="checkbox"/> 雨具 | <input type="checkbox"/> 携帯用カイロ | <input type="checkbox"/> 靴下 | |



備蓄品

- | | | |
|--|---|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> レトルト食品(ご飯・お粥など)・アルファ米 | <input type="checkbox"/> 飲料水(1日1人3ℓが目安) | <input type="checkbox"/> ロープ |
| <input type="checkbox"/> インスタントラーメン・カップ味噌汁 | <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> 長靴 |
| <input type="checkbox"/> 給水用ポリタンク | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | <input type="checkbox"/> 工具セット |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 水のいないシャンプー | <input type="checkbox"/> ランタン |
| <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ・割り箸 | <input type="checkbox"/> ほうきとちりとり | |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋 | <input type="checkbox"/> ラップフィルム | |



地域での助け合い「共助」

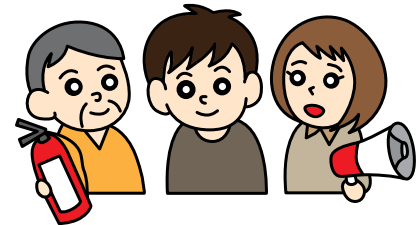
●地域での助け合い

大規模な災害が発生した時には、県や市、消防、警察などの防災関係機関だけでの対応は困難です。被害を最小限にとどめるには、地域での助け合いが重要です。いつあなたが助ける側に、また助けられる側になるかわかりません。日頃から地域の結びつきが災害時大きな力を発揮します。実際に阪神・淡路大震災の時に人命を救助した人の内訳は「近所の人」が最も多くなっています。



●自主防災組織とは

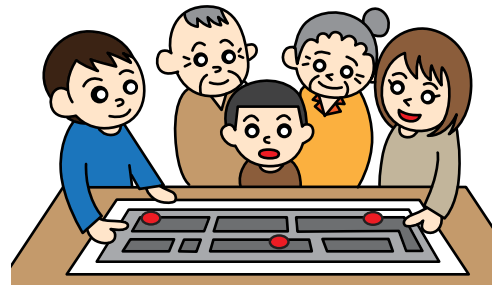
自主防災組織とは、地域の人々が自主的に防災活動をする組織です。災害を防ぐためには「自分たちの街は自分たちで守る」という意識を持って、災害に立ち向かうことが必要です。



家族や近所の人と声をかけあって積極的に訓練に参加しましょう!

●自主防災組織の活動

自主防災組織は、大規模な災害に備え、住民が的確に行動し被害を最小限にするため、日頃から住民への防災知識の普及・啓発、防災訓練などを行なっています。実際に地震などの災害が発生した際には、初期消火活動、被災者の救出・救助、情報の収集・伝達や避難所の運営といった活動を行うなど、重要な役割を担っています。



●「防災士」とは?

社会全体の防災力を高めるために創設されたNPO法人日本防災士機構が認証する民間資格のことで、大津市では、各地域の自主防災組織に1名ずつ防災士を配置するため、平成24年度から大津市防災士養成事業を実施しており、また、防災士を対象とした安全管理や救助・救出・出火防止・避難関連等の研修を実施しています。

●期待される「防災士」の役割

平常時 自主防災組織における訓練の企画・指導、地域住民への防災知識の普及活動等、自主防災活動の活性化及び地域住民の防災知識及び意識の高揚に努める。

災害時 自分の身を守ることを前提とし、公的機関が到着するまでの間、地域の減災活動にあたるほか、公的機関やボランティアと協働して救助・救出、避難所運営等の活動にあたる。



防災士

●要配慮者や避難行動要支援者を支援

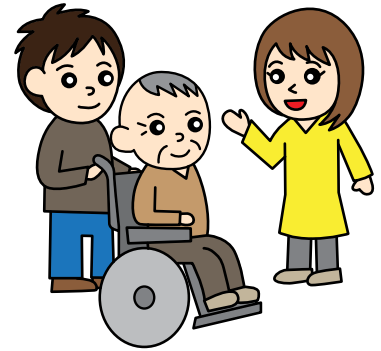
地域には障害のある方や高齢の方、妊産婦の方や日本語が分からない外国人などがおられます。日頃から気にかけて、お互いにコミュニケーションをとり、そして災害が起きた時にはみんなで助け合える関係をつくりましょう。

要配慮者とは？

災害時に限定せず一般に「特に配慮を要する人」のことで、高齢者や障害(児)者、妊産婦、乳幼児、アレルギーなどの慢性疾患を有する人、外国人など。

避難行動要支援者とは？

要配慮者のうち、災害が発生した場合に、自ら避難することが困難で、円滑・迅速に避難するために、特に支援を必要とする人。



●要配慮者・ご家族の方

過去の災害の例でも、はじめに支援をしてくれたのは隣近所の人です。日頃からご近所・地域の方とコミュニケーションをとり、顔の見える関係をつくりましょう。また、家庭備蓄や避難路の確認など、自身でできることは事前に備えておきましょう。

●ご近所・地域の方

住民同士の交流や要配慮者の見守り活動などの日常の地域活動が充実している地域は「災害にも強い地域」につながります。日頃から声をかけあい、災害時に助け合える関係づくりを進めましょう。

●災害時の主な誘導方法

高齢者、傷病者・難病患者、乳幼児・妊婦

- ・なるべく複数の支援者で対応
- ・担架等を利用、緊急時にはおぶって避難



車いすを利用している人

- ・車いすでの移動が困難なときはおぶって避難



聴覚障害者

- ・肩を叩くなどして目を合わせる
- ・筆談、身振りや手振りで情報を伝える



視覚障害者

- ・誘導時は手を引くのではなくこちらの肩やひじをってもらう



日本語の理解が困難な人

- ・身振りや手振り等でコミュニケーションをとる



大津市の情報伝達体制

情報の伝達経路

市からの避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



大津市防災メール

大雨・洪水などの気象警報、土砂災害警戒情報、避難情報など、大津市に関する災害情報を、メールでお届けします。

「5520bou@wbi.jp」へ
上記メールアドレスかQRコードを利用し、
空メールを送信してください。



しらがメール

避難情報・河川水位情報・雨量情報・気象情報・土砂災害警戒情報・防犯情報・食品衛生情報・地震情報・光化学スモッグ注意報や、その他お知らせをメールで配信します。

「entry@pref.shiga-info.jp」へ
上記メールアドレスかQRコードを利用し、空メールを
送信してください。



無料アプリ・大津市防災ナビ

大津市防災アプリ「大津市防災ナビ」を無料で配信していますのでぜひダウンロードしてお使いください。



防災情報を
プッシュ通知で
お知らせ

主な機能

- ◎ 現在地周辺の指定避難所、指定緊急避難場所、AED設置箇所を自動表示
- ◎ 現在地から上記場所までの誘導
- ◎ 充実したハザードマップ表示
- ◎ ARカメラ機能と避難コンパス
- ◎ 安否登録と安否確認
- ◎ 一部の機能は災害時に電波が通じないオフライン状況でも使用が可能です。また、大津市外でも利用できます。

プッシュ通知

- ◎ 避難情報や地震情報等の防災情報をプッシュ通知
- ◎ 土砂災害の危険性が高まっているエリアにいるユーザーに対し、注意喚起をプッシュ通知



無料アプリ「大津市防災ナビ」をダウンロードしよう!



← iPhone用のQRコード
App Storeの
ダウンロードページが開きます。



← Android用のQRコード
Google Playの
ダウンロードページが開きます。



あなたの避難場所・避難所を確認しておきましょう

●指定緊急避難場所・指定避難所の把握

各避難所は災害の状況に応じて開設されます。市からの開設情報に注意してください。

指定緊急避難場所

大規模な地震や火災等の災害発生により、住家が倒壊及びその恐れがある場合、また火災の発生や延焼の恐れがある場合に、住民が一時的に身の安全を確保するために避難する場所です。大津市では学校園のグラウンドや公園などを中心に指定しています。

指定避難所

地震、風水害、火災等の災害発生により、住家が損壊・倒壊、浸水、焼失し、またはその恐れがある場合に、一時的に身の安全を確保し、生活するための施設です。大津市では、学校園(主として体育館や遊戯室)や市民センター(公民館)などの建物を中心に指定しています。

福祉避難所

高齢者や障害者など、災害時、一般の避難所での生活に支障をきたす方を対象に開設する施設です。

いざという時の緊急連絡先

火事・救急 **119** 番

警察 **110** 番

	施設名	電話番号
官公庁(国・県・市)	大津市役所	077-523-1234
	最寄の支所(支所)	
	国土交通省琵琶湖河川事務所	077-546-0844
	滋賀県 大津土木事務所	077-524-2812
警察・消防	大津警察署	077-522-1234
	大津北警察署	077-573-1234
	大津市消防局	077-522-0119
ライフライン	関西電力送配電(株) 滋賀支社	0800-777-3081
	NTT西日本(故障受付)	113

インターネットによる情報入手先

大津市 <http://www.city.otsu.lg.jp/>

滋賀県防災情報 <http://www.pref.shiga.lg.jp/bousai/>

滋賀県土木防災情報システム <http://shiga-bousai.jp/>

NTT災害用
伝言ダイヤル

伝言を録音する

【171】にダイヤル → 録音の場合【1】
→ (市外局番)○○○-□□□□

伝言を聞く

【171】にダイヤル → 再生の場合【2】
→ (市外局番)○○○-□□□□

【171】にダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音、再生をして下さい。

災害に備えて ～避難場所・避難所を記入しよう～

地震の場合

地震発生

- 家屋の倒壊、火災の発生等、身の危険を感じた場合

地域の避難場所

地震発生後、災害の推移を見守る場所

例:○○公園

指定緊急避難場所

大規模な災害から身を守る場所

例:○○小学校グラウンド

指定避難所

例:○○小学校体育館

指定緊急避難場所、指定避難所は災害の種別ごとに指定されているので、最寄りの指定緊急避難場所、指定避難所の指定状況を確認しておきましょう。

〈指定緊急避難場所・指定避難所〉

<http://www.city.otsu.lg.jp/kurashi/bosai/hinanjo/index.html>

風水害の場合

大雨が降ってきたら 気象情報に注意

- 雨が強くなる可能性がある場合
- 身の危険を感じた場合
- 避難情報があった場合

指定避難所

洪水や土砂災害が発生する恐れがある場合、その危険から逃れるための場所

洪水

例:○○小学校体育館

土砂災害

例:○○小学校体育館

屋内安全確保

家の中の安全な場所にとどまること

